

招へい外国人研究員制度 (Invited Scholar Program)

フェローシップ外国人研究員制度 (Visiting Research Fellow Program)

地球研には外国人研究者が所に数ヶ月滞在し研究を行い、所の研究者と交流できる2つの制度があります。本制度を通じて、研究者及び地球研双方に利益があると考えています。本制度は、海外に拠点をおく研究者（日本国籍保持者も可能）及び日本に拠点をもつ外国籍の研究者を対象としており、採用者は選考により決定されます。

- **招へい外国人研究員制度**は、海外の研究者が1ヶ月～3ヶ月地球研に滞在し、所の知的基盤及び戦略面での発展に寄与する制度です。招へい外国人研究員は、自身の専門分野における広い知見と見識を地球研のメンバーと共有し、地球環境研究の国際的な発展に向けた戦略的な提案と助言を行います。招へい外国人研究員の選考は、受入教員となる地球研の教職員の推薦に基づいて行われます。採択された場合、滞在中は招へい外国人研究員として地球研で雇用され、給与が支給されます。
- **フェローシップ外国人研究員制度**は、海外の研究者が2ヶ月～6ヶ月地球研に滞在し、所の研究プログラム、プロジェクト、部門、センター又は室に関連した特定の研究に従事する制度です。フェローシップ外国人研究員は地球研で雇用はされませんが、旅費、宿泊費及び日当が支給されます。フェローシップ外国人研究員の選考は、応募者からの申請書に基づいて行われます。地球研の教職員が滞在中の受入教員となりますので、応募者は申請前に受入教員候補者を確定し、事前に協議する必要があります。

制度の比較（概要）

	招へい外国人研究員	フェローシップ外国人研究員
地球研での役割	所の知的基盤及び戦略面での発展に貢献	所の研究プログラム、プロジェクト、部門、センター又は室に関連した特定の研究に従事
基本的な要件	所属機関に雇用されており、豊富で幅広い研究経歴/業績を有すること	所属機関に雇用*されており、最低3年のポストク研究経歴又は同等の経験を有すること *地球研での滞在期間終了後まで自国での雇用が継続することを前提
選考プロセス	地球研の教職員の推薦に基づき審査（提出書類は <u>ほぼ教員が準備</u> ）	公募による応募者からの申請書に基づき審査（提出書類は <u>ほぼ応募者が準備</u> ）
滞在期間	1ヶ月～3ヶ月 *予算に応じて変更の可能性あり	2ヶ月～6ヶ月 *予算に応じて変更の可能性あり
地球研での条件	地球研で雇用	地球研で雇用されていないが、旅費、日当、宿泊費は支給